

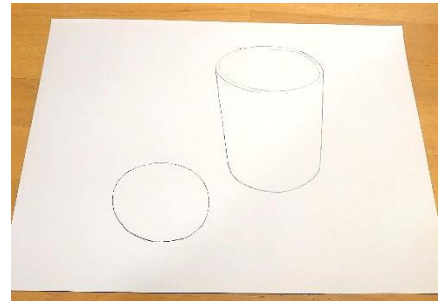
「物を見つめて」～よく見て描く～

Step 1

卵とコップ描いてみよう（5～10分）

- ① 卵1個と白いコップ または 卵2個を並べてよく見ながら鉛筆で描く（配布した画用紙）
＜ポイント＞

- ・白いコップは単純な形（紙コップでOK）が良い
- ・後で影の部分に色を付けるので、横から光がくる様にして、影の位置がはっきり見える場所に置く。
- ・大きさは実物より少し大きく描くくらいにすると、迫力が出る。



Step 2

影の色を感じて描こう（15分～30分）

- ① Step 1 の卵とコップの影の色を観察しましょう。

＜ポイント＞

- ・影は机に落ちる影と卵やコップの中にある影があります。両方感じ取りましょう。
- ・影は「灰色」と決めて終わるのでなく、灰色でも青みがかっていたり、緑っぽかったりと、置く場所や見る人のとらえ方で様々な色に感じ取ることができます。その色を感じ取ってみましょう。

- ② 感じた色を水彩絵の具で塗ってみよう

＜ポイント＞

- ・使う絵の具は前回固めた絵具です。
- ・黒の絵具は使わないようにしましょう
- ・黒っぽい色をつくる時は色を混ぜて作ってみましょう
- ・今回は白いものを描いたので、絵具が濃いと不自然になります。少量の絵具を調節して影の部分に色を付けましょう。
- ・白く残す部分（ぬらない部分は）最も明るいところです。それ以外は色を付けて、明るい部分と差をつけましょう。



「物を見つめて」～よく見て描く～

Step 1 自分の姿をよく見て描く（25分）

- ① B4以上の大きさの紙を用意しましょう（配布した紙でOK）
- ② 絵を描いている自分の利き手を紙の右上に描きましょう。（左利きの人は紙の左上）
- ③ そこから自分の見える部分をどんどん書いていきましょう。

<ポイント>

- ・鏡は使いません。
- ・とにかくよく見て描いてください。
- ・服のしわや、手の関節など見えたものはすべて書くつもりで描きましょう。
- ・紙が小さめなので実物より少しだけ小さくなくてもかまいません。
- ・よく見て描くことが目的です。人によってよく見る部分が違ってくるのも面白いところです。

利き手の部分から描きましょう。
はみ出してしまってもOK。
紙いっぱいにかけてところまで描きましょう。

作品イメージ



Step 2

自分の書いた絵を見て感想を書こう（5分）

- ① 描いてみて感じたことや気づいたことを絵の裏に描きましょう。

Step 3

作品に題名をつけよう（5分）

- ① 自分の書いた絵に題名をつけましょう（裏面）

<ポイント>

- ・題名を工夫することで自分の思いを伝えることができます。
- ・作品を書くときに、こだわった部分や観察した時に気に入った部分など、作品を見たときに注目してほしいところが伝わるといいです。

（例）「ごつごつした手」「握る」・・・ペンをぎゅっと握っている 「しわ」・・・服のしわが面白かった

「物を見つめて」～よく見て描く～

Step 1

スケッチしよう 30分×~~2回~~ (2枚)

<訂正>

① 2回→1回

② 2枚→1枚

- ① 教科書のP8・9を見た参考にしましょう
- ② 身のまわりの物で、気に入ったものや、いいなと思ったものをスケッチしましょう。
(配布した画用紙に)
- ③ が気に入ったときは色も付けましょう
(色は水彩絵の具・色鉛筆・ペンどれでもOK)
- ④ 裏に題名を書きましょう

<ポイント>

- ・とにかくよく見て描いてください。
- ・形や色の気に入った部分がしっかり表現できるように頑張りましょう。
- ・紙は縦横自由

Step 2

描きたいものを探そう

学校で静物画を描く予定です。(動物や風景でも写真を用意で切れば大丈夫です)

- ① 資料集「美術の表現と鑑賞」P24・25ページをよく読みましょう。
- ② 何を描きたいか考えて描くものを用意しましょう。

学校に持ってこられるようにしておくか、写真を撮っておく

※写真を撮る場合は並べ方や写真を撮る角度や背景や光の当たり具合も気にして撮りましょう。

<注意点>

- ・学校が再開したら学校で描く予定なので、学校に持ってこられるものにしましょう。
(くさるものやスマホなどの違反物や貴重品は持ってこられません)
- ・学校に持ってこられないものは写真を撮って持ってきても良いです。
- ・紙はB4程度(ノートを広げた大きさ)なので、大きさと量を考えて選びましょう。
P25の右下の生徒作品「窓辺の楽器」や「かさ」くらいの量が限界です。

